

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	後醍醐 <small>ごだいご</small> ※	28	永楽通宝 <small>えいらくつうほう</small>	55	土倉 <small>どそう</small>
2	1333	29	琉球 <small>りゅうきゅう</small>	56	門前町 <small>もんぜんまち</small>
3	足利尊氏 <small>あしかがたかうじ</small>	30	堺 <small>さかい</small>	57	善光寺 <small>ぜんこうじ</small>
4	1334	31	博多 <small>はかた</small>	58	20
5	建武の新政 <small>けんぶ しんせい</small>	32	1428	59	北山文化 <small>きたやま</small>
6	征夷大將軍 <small>せいいたいしょうぐん</small>	33	滋賀	60	金閣 <small>きんかく</small>
7	管領 <small>かんれい</small>	34	正長 <small>しょうちょう</small>	61	鹿苑寺 <small>ろくおんじ</small> ※
8	侍所 <small>さむらいどころ</small>	35	徳政令 <small>とくせいれい</small>	62	花の御所 <small>はなごしよ</small>
9	守護 <small>しゅご</small>	36	1485	63	東山文化 <small>ひがしやま</small>
10	足利義満 <small>あしかがよしみつ</small>	37	山城 <small>やましる</small>	64	銀閣 <small>ぎんかく</small>
11	明 <small>みん</small>	38	1488	65	慈照寺 <small>じしょうじ</small> ※
12	1392	39	加賀	66	書院造 <small>しよいんづくり</small>
13	倭寇 <small>わこう</small>	40	足利義政 <small>あしかがよしまさ</small>	67	雪舟 <small>せつしゆ</small>
14	金印 <small>きんいん</small>	41	1467	68	枯山水 <small>かれさんすい</small>
15	聖徳太子 <small>しょうとくたいし</small>	42	応仁の乱 <small>おうにん</small>	69	観阿弥 <small>かんあみ</small>
16	勘合 <small>かんごう</small>	43	日野富子 <small>ひのとみこ</small>	70	世阿弥 <small>ぜあみ</small>
17	遣明船 <small>けんみんせん</small>	44	早稲 <small>わせ</small>	71	狂言 <small>きょうげん</small>
18	木綿 <small>もめん</small>	45	カ		平安時代に始まったもの(5) … 節分 <small>せつぶん</small> 七夕 <small>たなばた</small>
19	ハンブル	46	イ		ひな祭り 竹取物語 祇園祭 <small>ぎおんまつり</small>
20	①	47	ウ		鎌倉時代に始まったもの(3) … 牛馬を耕作に利用して草や木の灰を肥料に使う 二毛作が西日本に
21	①	48	ア		広まる 月3回の定期市
22	②	49	キ		室町時代に始まったもの(20) … 門前町 <small>もんぜんまち</small> 節句
23	②	50	ク		正月の行事 水車をかながいに使う 灰や人糞・
24	③	51	惣(惣村)※ <small>そう そうそん</small>		えごまのしぼりかすなどの肥料を使う 水墨画
25	①	52	寄合 <small>よりあい</small>		能楽 狂言 1日3食 とうふ 味噌
26	③	53	馬借 <small>ばしゃく</small>		まんじゅう 醤油 うどん 盆踊り 茶の湯
27	①	54	問屋 <small>といや</small>		生け花 連歌 おとぎぞうし(一寸法師など)

記述 1 天皇が権力を一人でにぎろうとしたため、政治の事務がとどこおり、正式の書類を待ちきれない者たちによって偽の命令書が出された。

記述 2 天皇の政治は、公家や寺社の利益を優先するもので、鎌倉幕府を倒した武士たちにはほうびが少なく、反感を買った。

記述 3 天皇の住まいをつくるための新たな税を取り立てたため。

記述4 火薬をつくるための原料。

記述5 薬として使った。

記述6 ○人に危害をくわえる。○畑などをあらす。

記述7 ○水田に引く水の供給地としてのはたらき。○薪などの燃料の供給地としてのはたらき。
○家や農具を作るための供給地としてのはたらき。

記述8 応仁の乱を避けて、貴族や僧が地方の有力者をたよって地方に下ったため、地方に都の文化が広がった。